
平成27年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成27年3月9日

質問者（質問順）

- 1 白井正子委員（共産党）
- 2 遊佐大輔委員（自民党）
- 3 安西英俊委員（公明党）
- 4 五十嵐節馬委員（民主党）
- 5 木下義裕委員（結ぶ会）
- 6 大桑正貴委員（みんな）

こども青少年局

局 別 審 査

1 白 井 正 子 委 員 (共 産 党)

- 1 子どもの貧困対策に関する計画の策定について
 - (1) 本市の貧困対策に関連する現行事業をどのように評価しているか伺いたい。
 - (2) 就学援助制度や中学校給食、高等学校奨学金、35人学級、小児医療費助成制度について、計画策定を所管する、こども青少年局としてどう見ているのか伺いたい。
 - (3) 計画策定を機に、子どもの貧困対策を抜本的に引き上げるよう取り組むべきと考えるが見解を伺いたい。

2 遊 佐 大 輔 委員（自民党）

1 児童虐待防止対策について

- (1) 児童虐待に対する現状認識について伺いたい。
 - (2) 区役所と児童相談所との連携について伺いたい。
 - (3) 出産前後の保護者のメンタルケアについて、医療機関と連携していくことが必要と考えるが見解を伺いたい。
 - (4) 児童虐待防止に関する広報・啓発の今後の取組について伺いたい。
- (要望)

行政や医療機関などの専門機関が一丸となり、子どもを守る取組を加速することを要望する。

2 児童養護施設の整備について

- (1) 県立中里学園職員公舎の敷地に児童養護施設を整備することの必要性について伺いたい。
- (2) 新たに整備をする児童養護施設に求められる役割と機能とはどのようなものか伺いたい。
- (3) 今後の整備スケジュールについて伺いたい。
- (4) 整備上の課題と計画通り開所するために、どのように取り組んでいくのか伺いたい。

3 放射線対策について

- (1) 平成26年12月の運用方法の追加を踏まえて、今後、保護者にどのような配慮をしていくのか伺いたい。

4 幼児教育の推進について

- (1) 幼稚園の公定価格の修正内容について伺いたい。
- (2) 新たな幼稚園向けの本市独自の助成内容について伺いたい。
- (3) 私立幼稚園等預かり保育事業の実績について、5年前との比較を伺いたい。

- (4) 私立幼稚園等預かり保育事業の実施園が増えてきた要因について伺いたい。
- (5) 私立幼稚園等預かり保育事業の今後の方向性について伺いたい。

5 放課後児童育成施策について

- (1) 今後の業務執行に当たる区局の体制について、地域状況に応じた対応ができるよう充実を図るべきと考えるがどうか。
 - (2) 今後の放課後事業の拡充にかかる決意について、副市長に伺いたい。
- (要望)
- 予算を確保し、取組を推進することを要望する。

6 放課後等デイサービス事業者の支援の質の向上について

- (1) 放課後等デイサービスの事業所数の推移について伺いたい。
- (2) 放課後等デイサービスを今後どのような計画で増やしていくのか伺いたい。
- (3) サービスの質を低下させないための取組について伺いたい。
- (4) 放課後等デイサービスを利用する障害児が、安心して放課後を過ごしていけるよう今後どのように地域で連携していくのか伺いたい。

7 青少年の健全育成施策について

- (1) 青少年の健全育成施策の意義について伺いたい。
- (2) 青少年指導員制度の概要について伺いたい。
- (3) 青少年指導員の活動の意義について伺いたい。
- (4) 青少年指導員の活動に対する行政の支援について伺いたい。
- (5) 今後、青少年指導員に期待される役割について伺いたい。

1 保育関連について

(1) 市立保育所の民間移管について

ア 今までに民間に移管後、建替え等が行われた実績と、その際に活用した事業にはどのようなものがあるか伺いたい。

イ 保育所老朽改築事業の平成27年度予算概要と、民間移管園からの相談状況について伺いたい。

ウ 老朽化した保育園を移管する場合、最低限、園としての機能が保障される修繕を行ってから移管する。あるいは、移管後数年のうちに大規模改修ができる予算を確保するなどの対応が必要であると考えらるかどうか。

(要望)

出来るだけ早期に今後の増改築等の希望に対応できるよう検討することを要望します。

(2) 保育所の新規整備について

ア 保育所整備が必要な地域はどのように決定しているのか伺いたい。

イ 保育コンシェルジュが把握した情報を保育所整備に活かしていくことが必要と考えるかどうか。

ウ 多様な保育ニーズについても、よりきめ細かな地域におけるニーズの把握・分析を行うべきと考えるかどうか。

(要望)

総合的な地域カルテを作り、多様な保育サービスの展開に活かすなど、一層、効率的・効果的な子ども・子育て支援の取組を推進することを要望します。

(3) 保育士の人材確保について

ア 保育士・保育所支援センターでの、平成26年4月からの採用実績について伺いたい。

イ 本市の保育士確保策の中で、保育士・保育所支援センターはどのような役割を果たしているのか伺いたい。

2 障害児の地域での生活について

(1) 地域療育センター運営事業について

ア 幼児人口の多いセンターの相談員の増員を図ることとした背景について伺いたい。

イ 現在整備されている地域療育センターの機能を最大限に活用するために、様々な工夫の余地があると考えますがどうか。

ウ 障害のある子どもも、安心して受診できるようにすべきと考えるが、副市長に伺いたい。

(要望)

医療への対応を含めて、家族の気持ちに寄り添ったきめ細かな支援が行われることを要望する。

(2) 放課後児童育成施策について

ア 放課後3事業において、障害のある児童の利用がどのくらいあるか伺いたい。

イ 放課後事業における障害児の受入に関する支援の充実を図るべきと考えるがどうか。

(要望)

子ども・子育て支援新制度の下においても、学齢期の全ての子どもたち、保護者が安心して過ごすことができる放課後事業を充実させていくことを要望する。

3 児童虐待防止と子どもの相談窓口

(1) 児童相談所について

ア よこはま子ども虐待ホットラインの稼働状況について伺いたい。

イ 全国共通ダイヤル3桁化の影響と本市での対応について伺いたい。

ウ 児童虐待を発生させないためには、どのようなことに力を入れることが必要か伺いたい。

(2) 児童家庭支援センターについて

ア 児童家庭支援センターの支援内容について伺いたい。

イ 地域において児童家庭支援センターがどのような役割や機能を担っていく

のか伺いたい。

ウ 児童家庭支援センターの関係機関との連携はどのようにしていくのか伺いたい。

(3) 青少年相談センターについて

ア 青少年相談センターが中学生までの学校等の支援を円滑に引き継ぐための取組について伺いたい。

イ 青少年相談センターの市民に対する周知の取組について伺いたい。

(4) 地域子育て支援拠点における利用者支援について

ア 従来から実施している相談との違いについて伺いたい。

イ モデル事業の相談員を選任するに当たり留意した点について伺いたい。

ウ 利用者支援の実施により、深刻な育児不安や児童虐待の早期発見・未然防止につながるように、行政等の支援機関としっかり連携すべきと考えるがどうか。

(5) 市民に身近な場所で、学齢期のどのような相談でも気軽に相談でき、相談があった際には専門的相談機関に確実につなぐことや、適切な機関がなくても、相談者と向き合い寄り添っていくことが必要と考えるが、副市長の見解を伺いたい。

(要望)

学齢期の相談を切れ目なく確実に実施できるよう、関係機関の連携をさらに充実するとともに、体制を強化していくことを要望する。

1 放課後児童育成施策について

- (1) はまっ子ふれあいスクールから放課後キッズクラブへの転換の進捗状況について伺いたい。
- (2) はまっ子ふれあいスクールから放課後キッズクラブへの転換の優先順位の考え方について伺いたい。
- (3) 放課後児童クラブと放課後キッズクラブとの違いについて伺いたい。
- (4) 放課後児童クラブと放課後キッズクラブは共存できるのか伺いたい。
- (5) はまっこふれあいスクールの理念を継続し、留守家庭だけではなく、全ての子どもたちにとって豊かな放課後を提供すべきと考えるがどうか。

2 困難を抱える若者の自立支援における青少年相談センターの取組について

- (1) 若者自立支援施策における青少年相談センターの役割について伺いたい。
- (2) 青少年相談センターの支援実績について伺いたい。
- (3) 青少年相談センターが若者の自立支援を行っていく上での課題について伺いたい。
- (4) 青少年相談センターが行っている人材育成の取組とその特色について伺いたい。
- (5) 人材育成の取組について、質・量ともに充実させていく必要があると考えるがどうか。

3 24時間型緊急一時保育について

- (1) 24時間型緊急一時保育の設置状況と年間の利用件数、施設の利用率について伺いたい。
- (2) どのような理由で利用されているのか伺いたい。
- (3) 新設に向けた課題について伺いたい。
- (4) 今後の整備に当たり、どのように取り組んでいくのか伺いたい。

4 子どもの貧困対策について

- (1) 国の子どもの貧困率の推移について伺いたい。
- (2) 子どもの貧困の実態をどのように把握するのか伺いたい。
- (3) 多くの取組が行われている中で、計画を策定する意義について伺いたい。
- (4) 貧困の連鎖を断つため、特に「教育の支援」に力を入れるべきと考えるがどうか。

(要望)

実態把握はスピード感を持って取り組むことを要望する。

5 児童虐待防止対策について

- (1) 横浜市の居所不明児童対策について伺いたい。
- (2) 職員の人材育成の取組について伺いたい。
- (3) 区役所と児童相談所の体制について伺いたい。
- (4) 児童家庭支援センターの整備状況と平成27年度の予定について伺いたい。
- (5) 児童家庭支援センターの地域での関わりについて伺いたい。
- (6) 児童虐待対策の今後の方向性について、副市長に伺いたい。

5 木下義裕委員（結ぶ会）

1 こども青少年局予算総括について

- (1) 平成27年度予算で拡充した主な事業について伺いたい。
- (2) 今後の事業の拡充についてどのように考えているのか伺いたい。

2 社会的養護について

- (1) 登録認定里親数、委託里親数及びその割合の推移について伺いたい。
- (2) 今後の里親育成や委託推進の方法について伺いたい。
- (3) 新生児の保護件数とその委託先、児童相談所が関わった特別養子縁組の件数について伺いたい。
- (4) 特別養子縁組も見据えた新生児等の里親委託について、基本的な考え方と今後の対応について伺いたい。

(要望)

様々な課題はあるが、特別養子縁組につなげるとともに、そのために必要な児童相談所や区役所等の体制を確保することを要望する。

3 放課後児童育成事業について

- (1) 放課後キッズクラブへの転換を進めていくためには、教育委員会、学校長とこども青少年局が今まで以上に連携して進めるべきと考えるがどうか。
- (2) 放課後事業においても、教員を配置し、もっと交流を進めるべきと考えるが、副市長に伺いたい。

(要望)

学校は地域の方の拠点であり、地域に開かれた施設であるべきなので、関連施策を充実させることを要望する。

4 ワーク・ライフ・バランスの推進について

- (1) 平成27年度のワーク・ライフ・バランス推進の取組について伺いたい。
- (2) ワーク・ライフ・バランスを推進する上での課題について伺いたい。

- (3) 平成26年度の横浜市全体と子ども青少年局における課長級以上に占める女性の割合と、それについての所感を伺いたい。
- (4) 市の職員がワーク・ライフ・バランスを実現することで、市内経済活性化にもつながるため、一層推進すべきと考えるがどうか。

6 大 桑 正 貴 委 員 (み ん な)

1 育児支援事業について

- (1) 産前産後ヘルパー派遣事業について平成23年度以降にどのような見直しを行ったのか伺いたい。
- (2) 産前産後ヘルパー派遣事業の見直しによる効果と今後の課題について伺いたい。
- (3) 育児支援家庭訪問事業の利用のしくみについて伺いたい。
- (4) 育児支援ヘルパーの利用調整がどのように行われるのか伺いたい。

2 児童相談所の職員体制について

- (1) 児童相談所の児童福祉司は、現状で人口何人に1人となっているのか。また、4万人に1人として配置した場合に何人足りないのか伺いたい。
- (2) 児童相談所の職員のワーク・ライフ・バランスの現状と、どのような配慮をしているのか伺いたい。
- (3) 児童相談所の職員を増員する考えについて伺いたい。

(要望)

児童相談所がより良い仕事ができるよう、人員の増員について検討することを要望する。

3 寄り添い型学習等支援事業について

- (1) 寄り添い型学習等支援事業の実施状況について伺いたい。
- (2) 寄り添い型学習等支援事業で生活支援を実施してきたことによる子どもたちの変化と効果について伺いたい。

(要望)

今後も寄り添い型学習等支援事業を積極的に展開していくことを要望する。

4 保育所や幼稚園におけるアレルギー対応について

- (1) 食物アレルギー児の対応に当たって、マニュアルで特に徹底していることに

ついて伺いたい。

(2) 小規模保育事業などにおけるアレルギー児の対応上の課題について伺いたい。

(3) 今後、アレルギー児の対応にどのように取り組むのか伺いたい。